

科目名	人体の構造と機能・疾患（人体の構造と機能及び疾病）		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	池尻 義隆			
[アクティブラーニング授業]				
PBL（課題解決型）		反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1 人体の構造と機能及び疾病の概要を述べることができる。 2 身体機能とところの関連（心身相関）を説明することができる。 3 心理的支援が必要な疾病と心理的支援の内容を主体的に考えることができる。				
[授業概要] 本授業では、日常生活場面で接する健康情報を題材に、ヘルスリテラシーを身につけるとともに人体の構造と機能や疾病、心身相関について学ぶ。また、心理的支援が必要な疾病とその内容を主体的に考える機会をもつ。適時、担当教員が医師として経験した症例を提示して理解を深める。				
[準備学修（予習・復習）の内容・時間] 1回目授業で説明する。各回、予習して疑問点を明らかにしておくこと。各回予習復習合わせて4時間程度。				
[授業計画] 1 シラバスの説明、人体の各器官の構造と機能 2 生命維持と自律神経系、概日リズム 3 検診（出生前、出生後、学校、職場、がんなど）、健診、疾病概念 4 感染症、免疫、ワクチン 5 妊娠、出産、発達 6 生活習慣（食事、運動など）と生活習慣病 7 心理的ストレスと依存症 8 心理的ストレスと心身症、健康経営 9 がんや難病と治療 10 がんや難病と支援 11 加齢と加齢性疾病、健康長寿 12 医療保険制度、介護保険制度 13 まとめ				

科目名	人体の構造と機能・疾患（人体の構造と機能及び疾病）	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	池尻 義隆		
[成績評価方法] 毎回の授業前の予習結果(22%)、毎回の授業後の確認テストまたはリアクションペーパー(33%)、学期中のレポート(10%)、学期末試験(35%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内課題は授業あるいは次回授業で、レポートは学期内にkissでフィードバックする。 学期末試験は試験終了後に正答と解説をkissにアップロードする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容: 心理1-1／心理学の方法論を理解し、基本的知識と技能を修得している。 成績評価方法: 授業後の確認テスト(50%)、学期末試験(50%) 学科DP番号／DP内容: 心理3-1／心理学とそれに関連する諸分野の知識・技能を、主体的に修得しようとする意欲と姿勢を身につけている。 成績評価方法: 毎回の授業前の予習結果(50%)、学期中のレポート(50%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の態度(100%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業中の態度(100%) [教科書(ISBN)] 書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN: [参考書(ISBN)] 書籍名:授業で紹介 著者名: 出版社名: ISBN:			